

活動名	親育ち・子育てサロン「かるがもひろば」 ～子育て技術の伝承教室		団体名称	特定非営利活動法人くすくす
			活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
			活動の目的	⑧その他
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果		■各スケジュールごとの活動内容
<p>目標48組に対し、計52組の親子が「かるがもひろば」に参加した。参加者の満足度は非常に高く、「大変満足」が76.1%、「まあまあ満足」が23.9%で、全参加者が「満足」した結果が得られた。参加のきっかけでは、「親子遊びに関心があったから」という理由が最も多かった。子どもとの関わりに対して熱心でまじめであるがゆえに行き詰る親も多く、「（歌あそびの）歌詞は思いつきでもいいんだ」、良い意味で「適当でもいいんだ」という言葉を引き出せたことは大きな成果であった。家庭でも、手遊びや、体を使った簡単な遊びを「取り入れている」という親が多く、子どもに対しては、発達を促す運動やコミュニケーションの機会を増やすことができた。</p>		<p>2017.9 2017.10-2017.12 2018.1-2018.3 2018.4-2018.6 2018.7-2018.8</p>		<p>【A期】19組申込・19組参加 【A期】かるがもひろば（全3回）19組参加 【B期】11組申込 【B期】かるがもひろば（全3回）10組参加 【C期】12組申込 【C期】かるがもひろば（全3回）10組参加 【D期】13組申込 【D期】かるがもひろば（全3回）13組参加 ・各回終了後に振り返りを実施 ・各期終了後に参加者アンケートを実施・集計</p>
■活動目標		<p>・親が、子どもの成長過程を理解し発達に応じた遊び等を学ぶことで、子育ての不安が軽減し、楽しさを感じることができている（問題発生を予防できている）状態をめざす。 ・乳児が、遊びやコミュニケーションの機会を通じて、発達が促されている状態をめざす。</p>		
■長期成果		<p>・子どもへの接し方がわかり、親同士の交流機会を得たことで、産後一時的にパワーレスに陥っていた親が、自分の力を取り戻すことができる。将来的な児童虐待や精神疾患等の発生リスクを予防することができる。 ・それぞれの子どもに応じた成長発達の機会が保障される。必要に応じて適切な発達支援が受けられる。</p>		
活 動 風 景				
				
月齢に応じた、子どもの発達を促す運動・遊びを伝授		専門家からの発達や赤ちゃんとの生活に関するお話		参加者とスタッフ、みんなでワイワイ交流タイム
■得られた成果と今後の課題		■受益者や地域社会の変化		■得られたノウハウの共有・発信
<p>・今の子育て中の親たちは、「できないことが多いのではなく、「知らない」「教えてもらっていない」ことが多いだけである。「かるがもひろば」を通じて、専門家や子育てのちょっと先輩である支援者が分かりやすく伝授することで、「できる」ようになったり、できるようになるために専門家がどのようなサポートに入ればいいのか分かるようになった。育児不安等が深刻化する前に、「かるがもひろば」のように、ほんの少し踏み込んで具体的に関わらただけで、問題の発生予防に効果があることがアンケート結果や参加者の声から分かってきた。 ・「かるがもひろば」は、育児に関わる問題や困難の発生予防という点から実施効果が高いと考えているが、一方で、関わるスタッフが、親子の「問題探し」にならないよう注意が必要である。「できないこと」に目を向けるのではなく、親子それぞれの「力」＝「できること」を大切にできるかかわり方が求められる。</p>		<p>・まじめで熱心な親が多く、「～したい」「～ねばならない」と考えながらも、思い通りにいかない育児に戸惑っている様子が見受けられた。子どもの今の状態（発達）にどのような根拠があるのかを専門家が伝えると同時に、家でも取り入れられる遊びを「こんなに簡単でいいんだよ」というメッセージとともに伝授することで、「これでいいんだ」と感じてもらえることができた。例えば、おもちゃの替えの時に歌えるうたや、おもちゃがなくてもできる体を使った遊びなど、歌詞やテキスト通りではなくても、その時の思いつきや適当なリズムでも良いのだということも、「かるがもひろば」で体験しながら学んでもらえた。これらのことにより、子育ての不安軽減につなげることができた。（このことはアンケート結果とともに、参加者の声から裏付けられている）。 ・1期3回の学びの中で、親が、実際に目で見てやってみて、子どもとの関わり方を学ぶことで、3回目には「できるようになった」という変化が見られることも多かった。特に、子どもの変化は分かりやすく、遊びを通じて、ハイハイなどの運動発達が促されていることが分かった。</p>		<p>・大垣市保健センターとの協働で、専門家である保健師や理学療法士とのプログラム開発を進めることができた。具体的には、専門家が親子に、どのように具体的かつ簡単に分かりやすく伝えるのかを、各回ごとの振り返りを通して改善していくことができた。 ・今後も引き続き、「かるがもひろば」を協働して継続していく予定である。プログラムの内容及び進め方のノウハウは、汎用性が高いと確信している。各地から問い合わせがあれば、積極的に発信していく予定である。</p>
〒503-0904 （住所）岐阜県大垣市桐ヶ崎町37-2 メゾンイワタ102号 （団体名）特定非営利活動法人くすくす （ホームページ）：http://www.wagamama.npo-jp.net/				<p>助成金額 480,000円</p> <p>助成期間 H29.9.1～H30.8.31</p>

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。